

航空機騒音等軽減対策について

入間基地は、航空総体司令部飛行隊・航空救難団、第2輸送航空隊などの飛行部隊が所在し、国土防衛の任に当たっている首都圏唯一の航空自衛隊航空基地です。

この基地には、C-1等輸送機・YS-11・U-4多用途支援機・CH-47ヘリコプターなど約50機の航空機が所在し、昼夜にわたって訓練等を行っています。

当基地としては、少しでも騒音を軽減できるように次のような訓練の方法を考え、対策を講じています。

- 一 基地所在部隊の飛行訓練は、原則として月曜日から金曜日までの間に行います。ただし、土曜日および日曜日に要務連絡などのため、飛びつたり、他の基地から飛来したりする飛行機が若干ありますが、これも必要最小限度に止めております。
 - 二 通常の飛行は、朝8時ごろから始めて、おおむね午後5時ごろに終わっております。
 - 三 夜間飛行訓練は、通常月・火・木曜日に行っております。ただし、これらの日に天候が悪い場合は、水・金曜日に飛ぶこともあります。終了する時刻は、おおむね日没一時間三十分後までに終わります。
 - 四 地震・風水害のための写真偵察・救援物資投下・災害派遣隊員の輸送、航空機事故発生時の救護活動および演習などのため深夜、または早朝から飛行することがあります。
 - 五 飛行高度は、規則上の制約はありますが、なるべく高いところを飛ぶよう努力しています。
 - 六 連続離着陸訓練（タッチアンド・ゴー）は、一番騒音の持続する訓練ですので、部隊の錬度維持のため最小限の回数にとどめて実施しています。
 - 七 地上におけるエンジンの試運転は、基地の内部に騒音がいくように工夫し、時間帯については特別の場合を除き早朝と正午から午後一時間の間、および午後五時以降は実施しないよう考慮しています。
- そのほかの防音対策として、ジェットエンジンの消音装置を設置して騒音防止に努力しております。

平成三年一月九日（平成五年六月二十一日一部変更）

航空自衛隊入間基地

私共は国土防衛の目的を持って日夜飛行訓練を実施しておりますが、航空機事故により市民の皆様にご迷惑をかけないよう、安全を第一義として、十分な施策を講じながら努力しております。

（平成三年七月三十日追加）